

## 重点3 英語活動の推進

## 小学校における英語活動

## ねらい

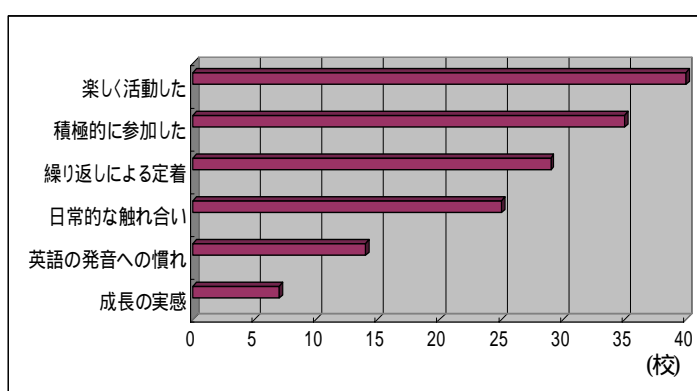
- ・ 小学校段階から世界に目を向け、国際感覚を身につけた豊かな心を持つ子どもを育成するため、国際理解教育の一環として、英語に親しむことを重視した活動を行っています。
- ・ 「聞く」「話す」ことを中心とした、体験的な英語活動をとおして、英語を使って表現しようとする意欲やコミュニケーション能力を育てています。

## 現状と課題

## 外国語活動でみられる子どもたちの様子

- ・ 外国語活動の成果について、「楽しく活動した」「積極的に参加している」という報告が多く、の学校から寄せられています。個人差はあるものの、子どもたちにとって、外国語活動が楽しく、意欲を感じられるものになっていることがわかります。
- ・ 挨拶の表現などを繰り返して体験することにより、自然に英語で挨拶する姿が見られたり、英語指導員との触れ合いも、外国語活動の場だけでなく休み時間や給食時など、日常的に行われるようになってきています。
- ・ 低学年から外国語活動に取り組むことにより、子どもたちが外国語や英語指導員とのかかわりに、抵抗が少なくなっていることがわかります。
- ・ 子どもたちが、英語の発音に慣れたり、「英語で言えた」「伝えることができた」という自分自身の成長を実感できるような授業を仕組む必要があります。
- ・ 子どもたちが自信を持って英語活動に取り組み、英語を使ったコミュニケーションに積極的に取り組む素地が作られるよう授業の工夫に努める必要があります。

## 外国語活動の成果



## 今後の改善方針

新しい学習指導要領の施行により始まる小学5、6年生での外国語活動（年間35時間）について、教育委員会主催の研修会の実施および校内研修推進の支援などにより、完全実施時にスムーズなスタートが切れるよう、準備を進めていきます。

平成21・22年度の移行期間においては、段階的に活動時間を増やし、指導の形態は、「担任（外国語活動担当教員）単独による指導」と、「担任（外国語活動担当教員）と英語指導員によるチームティーチング」を組み合わせで行います。

については、新しい指導形態となるため、指導教材の提供や指導方法の研修会を計画的に行っていきます。

英語活動に自信を持って取り組み、積極的にコミュニケーションを図ろうとする子どもを増やすため、活動の評価を指導に生かし、効果的な指導を行うための研究を進めます。

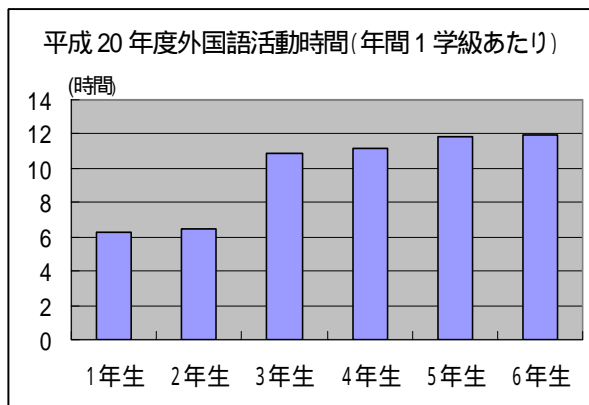
その他の主な取組状況

英語指導員の派遣と活用

- ・ 市内すべての小学校において、3年生以上で10時間以上、1・2年生で5時間程度の英語活動が行えるよう、英語指導員を派遣しています。

四日市市在籍の英語指導員（YEF） 11名  
委託業者から派遣される指導員（HEF）7名

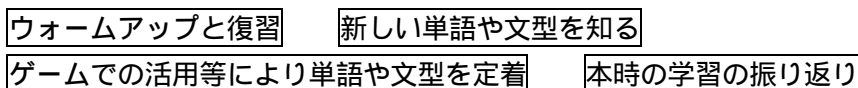
- ・ 各学校では、英語指導員を計画的に運用し、3年生以上では総合的な学習の時間、1・2年生では特別活動の時間等に英語活動を行っています。
- ・ 一緒に給食を食べたり、特別活動や休み時間とともに活動したりするなど、英語活動の時間以外にも、子どもと英語指導員がかかわる機会を設けています。



四日市市小学校外国語（英語）活動カリキュラム（以下：カリキュラム）の活用

四日市市では、英語活動のねらいに沿った内容のカリキュラムを独自に作成し、活用しています。

本カリキュラムの流れ



- ・ 楽しみながらコミュニケーション活動を体験できるよう構成
- ・ 日本語・英語で記述し、担任と英語指導員が活動内容について共通理解を図ることができるよう構成

今年度、担任と英語指導員の役割を明確にし、担任と英語指導員とのチームティーチングがより円滑に行われることを目指して改訂し、各学校に配付しました。



また、文部科学省が外国語活動の教材として配布する「英語ノート」と、四日市市の「カリキュラム」の関連について、四日市市外国語活動カリキュラム検討委員会で検討し、各学校に示しました。平成21年度からは、2つの教材を効果的に活用し、外国語活動を推進していきます。

研修会の実施

改訂したカリキュラムの実際の活動を体験する研修会を3回実施し、全小学校から各回1名以上の参加を得て、カリキュラム内容や具体的なチームティーチングの周知を図りました。



また、新学習指導要領の施行にともなってスタートする小学校外国語活動の、ねらいや今後の予定、実際の活動について学ぶ研修会を実施しました。さらに、各学校において外国語活動の推進をリードする役割を担う中核教員を招集し、市独自で研修会を実施しました。参加者からは「英語ノートをうまく活用していきたい」「校内研修の具体的なアイデアをいただき大変参考になった」「全員が進めていくということで、全体研修会を持っていきたい」といった感想が寄せられ、今後の校内研修や外国語活動の推進に向け、礎を築くことができました。